



(1)沿革

クリーンセンターは、昭和60年に周辺地域の皆様のご理解ご協力のもとに、処理能力84k1/日の施設を稼働させ、圏域内の生活環境の保全に努めてまいりました。しかし、長期運転による施設の老朽化と著しい機能の低下により、老朽化機器の取り換え及び改造が必要となり、平成9、10年度に国庫補助金等を財源とする基幹的施設整備事業として施設を整備いたしました。この事業実施にあたり、施設のリフレッシュと機能の充実を図りますとともに、ダイオキシン類の発生等公害防止対策を行うなど、施設周辺地域の環境に特に配慮いたしました。

今後もこの施設が生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与できますように、管理運営に最善の努力をしてまいります。

(2)施設の概要

● 新設

名称	: 有田周辺広域圏事務組合「クリーンセンター」
所在地	: 和歌山県有田郡有田川町大字長谷川1552-137
敷地面積	: 約4,000㎡
処理方式	: 低希釈二段活性汚泥法+高度処理
処理能力	: 84k1/日
総工事費	: 18億8000万円
工期	: 着工 昭和58年11月 : 竣工 昭和60年10月
設計・施工	: 荏原インフィルコ株式会社

● 改良

工事名	: 基幹的施設整備工事
総工事費	: 15億5400万円
工期	: 着工 平成10年2月 : 竣工 平成10年10月

(3)構成市町

有田市・有田川町（吉備町、金屋町、清水町が平成18年1月1日合併）